

2020年度本決算
決算説明会資料

2021年5月10日



目次

■ A. 2020年度決算概要

- A- 1 : 2020年度通期業績
- A- 2 : セグメント別通期業績

■ B. 2021年度通期業績予想と取組み

- B- 1 : 2021年度通期業績予想及び変動要素
- B- 2 : セグメント別通期業績予想
- B- 3 : 2021年度の改善ポイント(2020年度比)

■ Appendix. インデックス等指標一覧

(市況・積高実績/前提、エクスポージャー比率)

A. 2020年度決算概要

A-1 : 2020年度通期業績

■ 連結 決算概要

(億円)

売上高及び段階損益	2020年度							前年同期比		2021/3/31開示比	
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	通期 実績	通期 増減額	3/31開示 通期	増減額
売上高	1,522	1,479	3,001	1,686	1,568	3,254	6,255	7,353	△ 1,098	6,120	135
営業損益	△ 66	△ 36	△ 102	70	△ 181	△ 111	△ 213	68	△ 281	△ 210	△ 3
経常損益	△ 10	110	100	329	466	795	895	74	821	750	145
親会社株主に帰属する 当期純損益	△ 10	106	96	536	454	991	1,087	53	1,034	900	187
為替レート(/\$)	¥107.74	¥105.90	¥106.82	¥104.76	¥104.74	¥104.75	¥105.79	¥109.13	△¥3.34		
燃料油価格(/MT)	\$377	\$331	\$353	\$335	\$411	\$373	\$363	\$467	△\$104		

■ 主な変動要素

- 主にドライバルク及び自動車船事業を含む製品物流においてCOVID-19感染拡大の影響を受け営業損益は悪化
- 持分法適用会社 OCEAN NETWORK EXPRESS PTE. LTD. の運営するコンテナ船事業において、旺盛な貨物需要に伴い、市況も安定し経常損益、当期純損益が改善
- 当社が保有する、海外ターミナル事業を運営するINTERNATIONAL TRANSPORTATION SERVICE, INC. の保有株式売却により、特別利益を計上し親会社株主に帰属する当期純損益が改善

■ 主な財務指標

(億円)

指標	2020年度末	2019年度末	増減額
自己資本	2,182	1,011	1,171
有利子負債	5,070	5,435	△ 365
現金及び現金同等物期末残高	1,300	1,119	181
DER	232%	538%	△305ポイント
NET DER	172%	423%	△252ポイント
自己資本比率	22%(*)	11%	11ポイント

*格付機関から資本性評価50%を取得している劣後ローンを加味した場合、自己資本比率は26%相当

■ 期末配当

- 当期の配当は無配とさせていただきます。

A-2 : セグメント別通期業績

■ セグメント別 通期業績

(億円)

セグメント (上段：売上高) (下段：経常損益)	2020年度							前年同期比	
	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	3Q 実績	4Q 実績	下期 実績	通期 実績	通期 実績	通期 増減額
ドライバルク	452	428	880	475	465	939	1,820	2,338	△ 518
	△ 44	△ 49	△ 93	16	△ 15	1	△ 91	41	△ 132
エネルギー資源	192	185	378	198	200	399	776	847	△ 70
	16	18	34	6	△ 29	△ 23	11	99	△ 88
製品物流	814	803	1,617	923	857	1,779	3,397	3,845	△ 448
	30	157	187	332	526	858	1,045	△ 29	1,075
うち、コンテナ船事業	108	105	213	108	101	209	422	1,020	△ 598
	51	165	215	302	521	823	1,038	△ 104	1,142
その他	63	62	125	91	46	136	262	323	△ 61
	2	5	6	0	4	4	11	17	△ 6
本部・調整	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	△ 14	△ 21	△ 35	△ 24	△ 21	△ 45	△ 81	△ 54	△ 27
合計	1,522	1,479	3,001	1,686	1,568	3,254	6,255	7,353	△ 1,098
	△ 10	110	100	329	466	795	895	74	821

■ セグメント別 主な変動ポイント

▶ ドライバルク

- 上期はCOVID-19感染拡大による経済活動の停滞や産地の天候不順などにより市況が低迷したが、下期は主要国の経済活動に伴う輸送需要の回復があり、市況は堅調に推移

▶ エネルギー資源

- VLCC(大型原油船)、LPG船、電力炭船及びLNG船において、中長期の期間備船契約のもとで安定収益を確保
- ドリルシップ事業は現行備船契約満了後の市況予想を踏まえ一過性の損失が発生

▶ 製品物流

- 自動車船事業は、COVID-19感染拡大の影響で、世界的な販売の低迷、各国工場での生産停止があり、上期は輸送需要が減少したが、下期の輸送需要は回復
- コンテナ船市況は、旺盛な貨物需要に下支えされ、安定して推移

B. 2021年度 通期業績予想と取組み

B-1 : 2021年度通期業績予想及び変動要素

■ 連結 通期業績予想

(億円)

	2021年度			2020年度比	
	上期 予想	下期 予想	通期 予想	通期 実績	増減額
売上高	2,975	2,725	5,700	6,255	△ 555
営業損益	70	△ 70	0	△ 213	213
経常損益	440	10	450	895	△ 445
親会社株主に帰属する 当期純損益	550	△ 200	350	1,087	△ 737
為替レート(/\$)	¥106.62	¥105.00	¥105.81	¥105.79	¥0.02
燃料油価格(/MT)	\$456	\$406	\$431	\$363	\$68

■ 通期業績 主な変動ポイント

- ▶ 売上高は海外ターミナル事業の売却等による影響で減少し5,700億円を見込む
- ▶ 営業損益はCOVID-19の影響が縮小し収支均衡を見込む
- ▶ 経常損益はコンテナ船市況の下支えにより450億円を見込む
- ▶ ドライバルク及び製品物流については、COVID-19の影響が一定の割合で残る可能性がある
- ▶ 下期に不採算船・事業の構造改革を検討

■ 前提

- ▶ 為替レート ¥105.81/\$
- ▶ 燃料油価格 \$431/MT
- ▶ 市況前提 Appendixご参照

■ 変動影響(12か月間)

- ▶ 為替レート変動 1円変動 ±8億円
- ▶ 燃料油価格変動 10ドル変動 ±0.1億円

■ 配当

財務体質の改善を継続課題と捉え、収益の改善に向け取り組んでまいります。中間・期末配当につきましては現時点で未定とさせていただきます。

B-2：セグメント別通期業績予想

■ 連結 通期業績予想

(億円)

セグメント (上段：売上高) (下段：経常損益)	2021年度			2020年度比	
	上期 予想	下期 予想	通期 予想	通期 実績	増減額
ドライバルク	1,020	810	1,830	1,820	10
	65	30	95	△ 91	186
エネルギー資源	370	345	715	776	△ 61
	15	25	40	11	30
製品物流	1,530	1,515	3,045	3,397	△ 352
	405	△ 5	400	1,045	△ 646
うち、コンテナ船事業	200	190	390	422	△ 32
	380	△ 50	330	1,038	△ 708
その他	55	55	110	262	△ 152
	△ 5	0	△ 5	11	△ 16
本部・調整	-	-	-	-	-
	△ 40	△ 40	△ 80	△ 81	1
合計	2,975	2,725	5,700	6,255	△ 555
	440	10	450	895	△ 445

■ セグメント別 主な変動ポイント

▶ ドライバルク

- ・ 各国の経済支援政策、COVID-19感染拡大の抑制策により、世界経済の回復基調が続くことが期待される
- ・ 新造船竣工量が限定的であることや環境規制施行に伴う解撤船の増加により、船腹需給は引き締まり、ドライバルク市況は堅調に推移する見込み

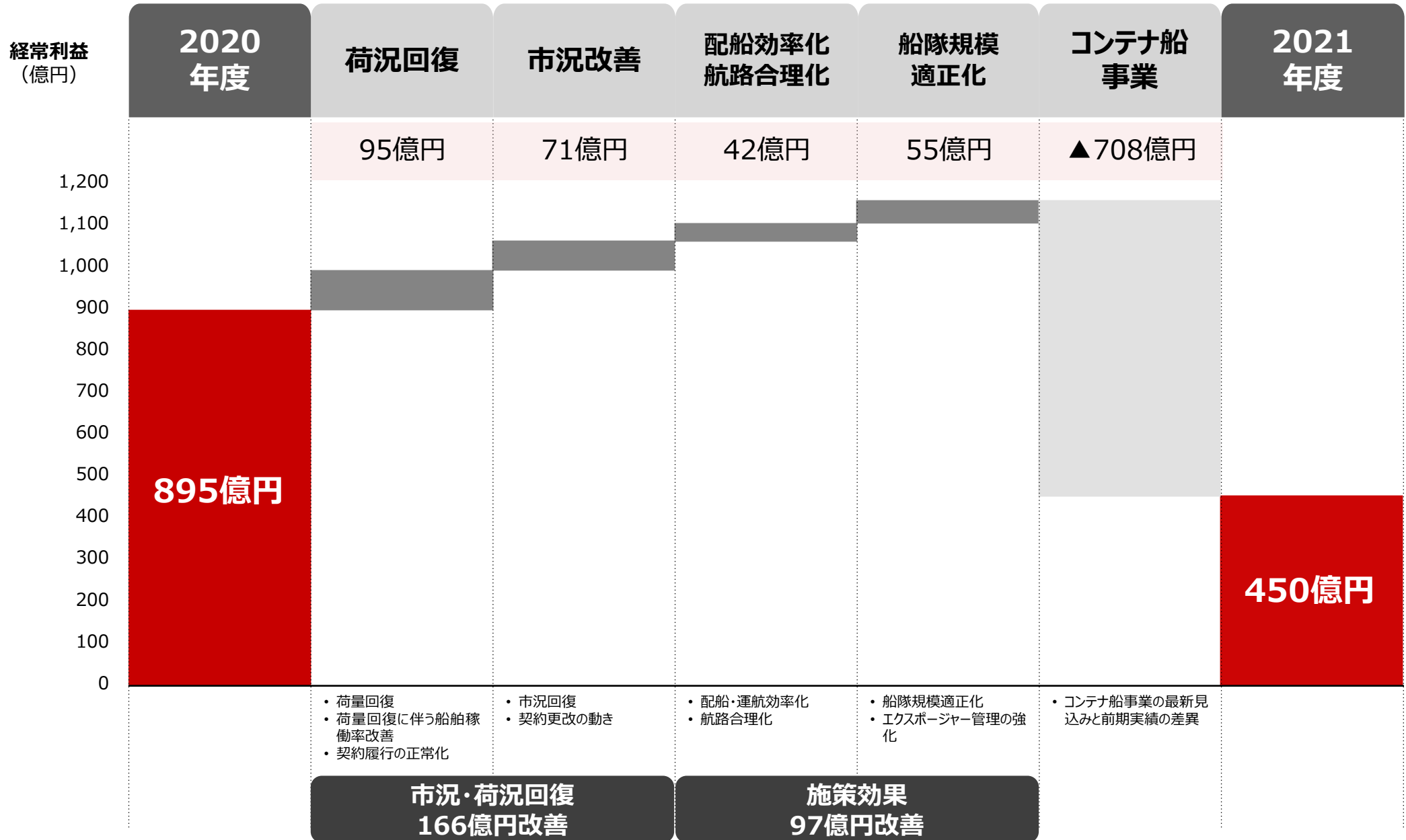
▶ エネルギー資源

- ・ VLCC(大型原油船)、LPG船、電力炭船及びLNG船において、中長期の期間傭船契約のもとで安定収益の確保を見込む

▶ 製品物流

- ・ 自動車船事業において、COVID-19感染拡大の影響から荷量は大きな回復を継続
- ・ 半導体不足への懸念はあるが、昨年度の船隊規模適正化、航路網再編の取組みなどによる効果が現出
- ・ コンテナ船市況は、上期は旺盛な貨物需要が継続し、下期には一旦調整局面が来ると想定するが底堅く推移する見込み

B-3 : 2021年度の改善ポイント(2020年度比)



| Appendix

市況実績・前提/エクスポージャー比率

■ ドライバルク市況実績・前提

バルク市況	2020年度					2021年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q予想	2Q予想	3Q予想	4Q予想	通期予想
CAPE	\$9,950	\$20,750	\$16,950	\$17,150	\$16,300	\$24,000	\$24,000	\$20,000	\$12,000	\$20,000
PANAMAX	\$6,050	\$11,750	\$10,700	\$17,150	\$11,500	\$20,000	\$18,000	\$13,500	\$11,500	\$15,750
HANDYMAX	\$5,500	\$9,950	\$10,750	\$16,650	\$10,750	\$17,000	\$16,000	\$13,000	\$11,000	\$14,250
SMALL HANDY	\$3,250	\$7,150	\$9,200	\$14,650	\$8,600	\$17,000	\$14,000	\$10,000	\$8,000	\$12,250

■ 油槽船市況実績・前提

油槽船市況 (WS)	2020年度					2021年度				
	1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q予想	2Q予想	3Q予想	4Q予想	通期予想
VLCC	94	35	29	33	47	41	38	50	50	45
(中東/日本)	\$107,850	\$19,750	\$10,900	\$5,750	\$36,050	\$10,750	\$15,500	\$30,000	\$30,000	\$21,550
AFRAMAX	119	69	54	73	79	83	110	126	126	111
(南方/日本)	\$26,350	\$9,650	\$4,650	\$2,650	\$10,850	\$8,000	\$16,500	\$21,000	\$21,000	\$16,650

■ 期末運航隻数規模

船型	2018年度末	2019年度末	2020年度 3月末
CAPE	96	93	86
中・小型船	103	92	88
チップ船	10	10	7
合計	209	195	181

船型	2018年度末	2019年度末	2020年度 3月末
VLCC	8	6	6
LPG船	8	5	4
他油槽船	6	6	6
電力炭船	25	29	26
LNG船	48	47	44
合計	95	93	86

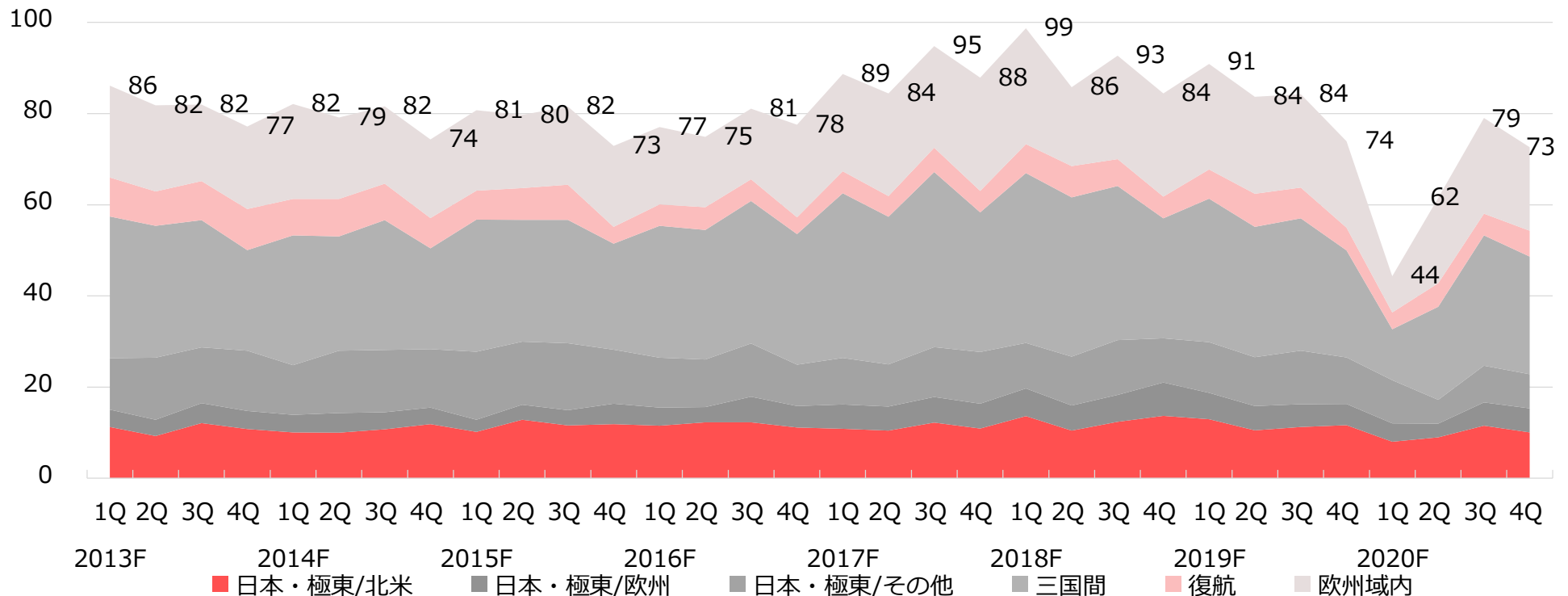
■ 2021年度：運航規模におけるエクスポージャー率

船型	エクスポージャー率
CAPE	14%
中・小型船	25%
チップ船	0%
VLCC	0%
LPG船	0%
他油槽船	67%
電力炭船	10%

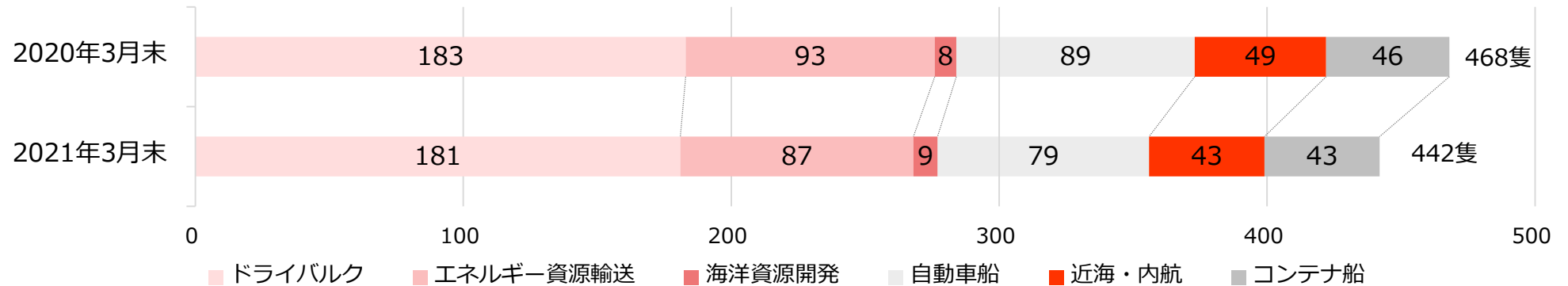
自動車船航路別積高実績・前提

輸送台数 (千台)	2019年度 通期実績	2020年度					2021年度				
		1Q実績	2Q実績	3Q実績	4Q実績	通期実績	1Q予想	2Q予想	3Q予想	4Q予想	通期予想
往航	1,109	215	172	247	228	862	261	261	273	263	1,058
復航	254	37	51	48	57	193	56	54	49	49	208
三国間	1,126	112	204	286	258	860	245	245	243	230	963
欧州域内	839	79	187	209	183	659	203	196	204	202	805
合計	3,328	443	615	790	726	2,575	764	756	771	744	3,034
船隊規模 (隻数)	85	84	76	75	79	79	80	78	79	78	78

(10,000 Units)



グループ船隊構成



船種	2021年3月末						2020年3月末	
	所有船		備船		合計		合計	
	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン	隻数	重量トン
ドライバルク	52	6,290,705	129	16,796,331	181	23,087,036	183	23,930,307
電力炭船	6	527,434	21	1,891,180	27	2,418,614	29	2,595,392
LNG船	42	3,579,351	2	152,272	44	3,731,623	47	3,953,514
油槽船	11	1,719,494	5	776,868	16	2,496,362	17	2,546,549
オフショア支援船	6	29,186	0	-	6	29,186	6	29,186
海洋掘削船	1	-	0	-	1	-	1	-
FPSO	1	-	0	-	1	-	1	-
LNG燃料供給船	1	2,431	0	-	1	2,431	-	-
自動車船	33	442,571	46	854,046	79	1,296,617	89	1,464,163
近海・内航	25	235,937	18	235,986	43	471,923	49	564,927
コンテナ船	7	460,448	36	3,503,346	43	3,963,794	46	4,082,343
合計	185	13,287,557	257	24,210,029	442	37,497,586	468	39,166,381

* 所有船の隻数は共有船を含み、重量トン数は共有船の当該船舶における他社持分を含む

* 基幹船隊に加え、期末時点の短期・スポット備船を含んだ隻数

グループ運航船舶/新造船竣工予定

■ グループ運航船舶

セグメント	事業部門・船種	2020年3月末	2021年3月末
ドライバルク セグメント	CAPE SIZE	89	82
	OVER PANAMAX	4	4
	PANAMAX	42	50
	HANDYMAX	34	31
	SMALL HANDY	4	7
	CHIP	10	7
	セグメント合計		183
エネルギー資源 セグメント	原油タンカー/VLCC	6	6
	原油タンカー/AFRAMAX	3	3
	ケミカル船	3	3
	LPG船	5	4
	合計	17	16
	LNG船	47	44
	電力炭船	29	27
	オフショア支援船	6	6
	海洋掘削船	1	1
	FPSO	1	1
	LNG燃料供給船	0	1
セグメント合計		101	96
製品物流 セグメント	7,000台型	15	15
	6,000台型	39	37
	5,000台型	14	10
	4,000台型	5	1
	3,000台型	5	5
	2,000台型	4	4
	2,000台型未満	7	7
	合計	89	79
	14,000TEU	12	12
	8,000TEU以上	13	13
	5,500TEU以上	7	6
	4,200TEU以上	7	7
	1,700TEU以上	7	5
	1,200TEU以上	0	0
合計	46	43	
近海・内航船	49	43	
セグメント合計		184	165
総合計		468	442

■ 新造船竣工予定 (年度別)

竣工隻数	2021	2022	2023
CAPE SIZE	1		2
OVER PANAMAX	2		1
HANDYMAX		1	
CHIP		1	
LNG船		2	
FPSO			1
近海・内航船	1		
合計	4	4	4

【免責事項】

本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的とし、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、投資家ご自身の判断において行われるようお願いいたします。

【見通しに関する注意事項】

本資料には将来についての予想や見通しが含まれておりますが、これらは当社が現時点で入手可能な情報に基づいており、経済動向、海運業界需給、燃料価格、為替相場等の動向により変動することをご了承下さい。

